

製品安全データシート

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
住所 東京都港区芝 2-6-1
担当部門 生産・物流・信頼性保証部門
クオリティーマネジメント部
電話 03-5443-5128
FAX 03-5443-5299
緊急連絡先 カスタマーサポートセンター
(電話 0120-868-555)
作成 2008年10月30日
改訂 2009年7月9日

整理番号：MSDS 518100063

商品コード 518100063
製品名 (商品名) リボマップキット
キット中 RiboPrep および RiboFix 試薬に含まれる

物質の特定

単一製品・混合物の区分 混合物 (ホルムアルデヒド水溶液)
化学名 ホルムアルデヒド
含有量 12 %
化学式又は構造式 (分子量) CH_2O (30.03)
毒物及び劇物取締法 政令第2条第97号劇物
官報公示整理番号 化審法:2 482
CAS 番号 50-00-0
国連分類 クラス 3
国連番号 1198

危険・有害性の分類

分類の名称	急性毒性物質
危険性	水溶液であるため、火気による危険性は少ない。 引火点以上になると爆発の危険性がある。
有害性	眼、皮膚、呼吸器に刺激性を示す。 蒸気の吸入は、粘膜を刺激し、鼻カタル、結膜炎、気管支炎を起こ

す。
誤飲により、中枢神経の抑制、呼吸器障害、腎障害を起こす。
環境影響 水中生物への毒性がある。

応急処置

- 目に入った場合 :一刻でも早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。
適温の緩やかな流水により、15分以上、救急車が来るまで洗脳する。洗浄を中断してはならない。
洗顔の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよくいきわたるように洗浄する
医師の手当てを手当を受ける。すぐに痛みが無く視力に影響が無くとも障害が遅れて現れることがあるので必ず医師の診断を受ける。
- 皮膚に付いた場合 :一刻でも早く洗浄を始め、付着した製品を完全に洗い流す必要がある。
洗浄が遅れ、不十分だと重度の皮膚障害の恐れがある。
汚染された衣類、靴などは多量の水をかけて洗い流しながら、速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば衣服などを切断する。
その後、水または微温湯を流しながら最低20から30分間、時計を見ながら洗う。
直ちに医師の手当てを受ける。すぐに痛みが無くとも障害が遅れて現れることがあるので必ず医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 :被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる
身体を毛布などで多い、保温して安静に保つ
直ちに医師の手当てを受ける。
- 誤飲した場合 :直ちに吐剤、牛乳を与えて吐かせる
直ちに医療機関へ搬送して処置を受ける。(吸引毒性があるため)
-

火災時の措置

- 消火方法 :初期の消火には、粉末、炭酸ガス、泡などを用いる。霧状水によっても消火することができる。
大規模火災の際には、泡消化剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
火災周辺の設備などに散水して冷却する。移動可能な可燃物容器は、速やかに安全な場所に移す

消火剤 : 粉末、炭酸ガス、泡、水(噴霧)

消化を行うものの保護 : 消火作業の際には必ず自給式呼吸器などの保護具を着用する。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する

漏出時の措置

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

漏出した場所周辺に、ロープを張るなどして関係者以外立ち入りを禁止する。

作業の際には必ず、保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、眼に入るのを防ぎ、作業する。危険無くできるときは、漏洩をとめる。

少量の場合 : 乾燥砂、榧、おがくず、ウエスなどに吸収させ、密閉できる容器に回収する

大量の場合 : 盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際、下水、側溝などに入り込まないように注意する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い : 液の漏洩および飛散を極力防止する

保護めがね、保護手袋は必ず着用する。接触、吸入などの恐れがあるときはその他の保護具を着用する。

保管 : 容器は直射日光を避け、通風の良い冷暗所に常温で保管する。

保管場所は、火気厳禁とする。

酸化性物質、有機過酸化物と同一の場所で保管しない。

暴露防止措置

許容濃度 : 0.1ppm (0.12 mg/m³) (日本産業衛生学勧告値 2007 年度版)

設備対策 : 1) 局所排気装置

2) 取扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具 : 保護手袋、保護眼鏡、保護衣、防塵マスク

物理 / 化学的性質

外観等 : 常温で無色液体、刺激臭

融点 : -92

沸点 : -19.5

対水溶解度 : 55%

比重 : 0.815 (-20/4)

引火点 : 50-85

発火点 : 424
爆発限界 : 上限 73%、下限 7%

危険性情報 (安定性・反応性)

安定性 : 空気中の酸素によって一部が酸化されて蟻酸を生じる
反応性 : 加熱すると空気と爆発性の混合ガスを生じる
発火性 : データなし
酸化性 : データなし
自己反応性・爆発性 : データなし
粉塵爆発性 : データなし

有害性情報

ヒトへの影響 : 誤飲すると激しく嘔吐し、下痢をお越し、衰弱する。
皮膚炎を起こす
動物への影響 : 経口 ラット LD₅₀ 100mg/kg

環境影響情報

生分解性 : 良好

廃棄上の注意)

取扱い : 皮膚への付着を避ける。保護眼鏡、保護手袋、マスク及び保護衣を着用する。
取扱い後は、手及び顔をよく洗浄する。
大量に廃棄する場合は、専門の業者に処分を依頼する(焼却処分)。

輸送上の注意

輸送にあたっては、毒物及び劇物取締法に従う。容器等で運搬輸送する場合は、漏れの無いことを確認し、衝撃、転倒、落下、破損の内容に積み込み、荷崩れ帽子を確実に
行う。

適用法規

労働安全衛生法 : 第 57 条、政令第 18 条第 34 号
および 政令第 18 条の 2 別表第 9 の 548
毒物及び劇物取締法 : 劇物
大気汚染防止法 : 政令第 10 条第 5 号
PRTR 法 : 第一種 (政令番号 1-310)

その他

製品安全データシートは品質保証書、規格書ではありません。

使用に際しては、添付文書をご参照ください。

ここに記載された内容は、現時点での知見、情報に基づき作成されたものであり、よって危険有害性の評価または情報が完全なものとは言えないので取扱いには充分注意してください。